



# CSR

Corporate Social Responsibility

## Report 2019



<https://www.kobelcosys.co.jp/>

本社：〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号 シマブンビル  
東京本社：〒141-8688 東京都品川区北品川15丁目9番12号 北品川IONビル

発行：コベルコシステム株式会社 CSR推進委員会  
(事務局 TEL. 078-261-6001 FAX. 078-261-7520)

本誌は、印刷・製本に関して以下のような配慮を行っています

印刷に関する配慮



印刷工程において有害廃液を出さない「水なし印刷」を採用しています。

用紙に関する配慮



この冊子はFSC®認証紙を使用しています。

インクに関する配慮



環境負荷の少ない植物油インクを使用しています。



# CSR

Corporate Social Responsibility

## Report 2019



## Top Message

約30年続いた平成の時代が終わり、新たに歴史上初めて国書を典拠とする『令和』の時代が幕を開けました。

いま世界経済が、米中の貿易戦争や英国のEU離脱など不透明な要因もある一方で、国内では本年のラグビーワールドカップ開催に続き、来年にはいよいよ東京オリンピック、さらに2025年には大阪万博の開催が予定されています。新元号が、これから日本がまた新たな発展を遂げていく大きなきっかけになるのではないかと期待をしています。

さて、そのような時代の節目の中で、当社が身をおくITの世界では、技術の急速な進展に支えられた“デジタルトランスフォーメーション(DX)”がいよいよ本格的な導入段階に入ってきており、あらゆる産業で競争力の維持・強化に向けたIT活用が待ったなしの状況となってきました。

この大きな潮流への対応と持続的な成長を目指して、我々コベルコシステムは、昨年、お客様の真のパートナーになろうという思いを込めた長期経営ビジョン『Be a Trusted Partner』を打ち出し、これに基づいて策定した3か年の新中期経営計画『Get Trust! 2020』を推進中です。

本年は、将来にわたりお客様に期待されるITサービス企業になっていく“足固め”の2年目になります。社員がやりがいをもってイキイキと働くための人事制度改革やお客様向け体制の強化など既に昨年実施したものに加え、今年はデジタルイノベーションセンターやスマートファクトリーセンターなどの組織を新設&リニューアルし、AI、IoT、RPAをはじめとする先進ITの活用や製造業での設計～生産工程のスマート化に向けた取り組み強化など、積極的な施策を着実に展開しています。

このような制度や仕組みの改革はもちろん重要ですが、実際に実行するのは社員であり、真のパートナーとなっていくためには、社員一人ひとりの意識改革、行動変革がより重要な課題です。その一環として、デザイン思考の考え方を取り入れた全社員を対象とする人材育成プログラムを新たに作り、あわせてスタートさせました。

さらには企業運営のベースとなるコンプライアンス遵守の徹底にも継続して努めています。

以上の考えを反映し、地域社会を含むすべてのステークホルダーの皆様とともに発展するべく取り組んでいる活動内容を当CSRレポートにまとめました。

当レポートをご覧になられた方々が当社のCSR活動を通じた社会貢献にご理解いただけることを願っています。

代表取締役社長

田野美雄

## Contents

### 特集

03 「Be a Trusted Partner」に向けて

### お客様とともに

- 09 お客様から信頼されるパートナーになるために
- 11 セキュリティなくしてビジネスなし
- 12 品質向上活動に終わりはない
- 13 お客様事例紹介
- 14 外部からの評価

### ビジネスパートナー様とともに

15 公正なパートナーシップの維持

### 社員とともに

- 17 人材育成の仕組み
- 20 社員と組織の絆を深めるために

### 地域社会とともに

21 環境保護・地域貢献活動

### CSRの取り組みについて

23 コベルコシステムのCSRを支える経営基盤

26 会社プロフィール / 沿革 / 編集後記

#### 【報告対象期間】

2018年1月1日から12月31日の1年間の活動を中心に記載しています。一部につきましては、対象期間以前からの経緯やCSRレポート発行時直近の事項についても記載しています。



# 「Be a Trusted Partner」に向けて

## お客様に信頼されるパートナーを目指して

コベルコシステムは2017年に設立30周年を迎え、今後も継続的に発展を続けるために、これまでの経営ビジョンを新たに経営理念として位置づけ、将来ありたい姿を示した長期経営ビジョン『Be a Trusted Partner』および長期経営ビジョンの実現に向けた

3か年の中期経営計画『Get Trust! 2020』（2018年～2020年）を策定しました。顧客基盤の強化を図るとともに、Trusted Partnerになるための人材育成や社員の行動変革を促す仕組み作りなどに注力しています。

### 長期経営ビジョン

## Be a Trusted Partner

お客様に信頼されるパートナーとして

- お客様にとってなくては困る会社
- お客様とともに成長する会社
- 社員が誇りを持てる会社

### 中期経営計画

## Get Trust! 2020

- 長期経営ビジョン実現への第1ステップとして顧客基盤強化の足固めの3か年とする
- Trusted Partnerとなるための人材育成、社員の行動変革を促す仕組みづくりに経営資源を投下する
- お客様とともに成長する

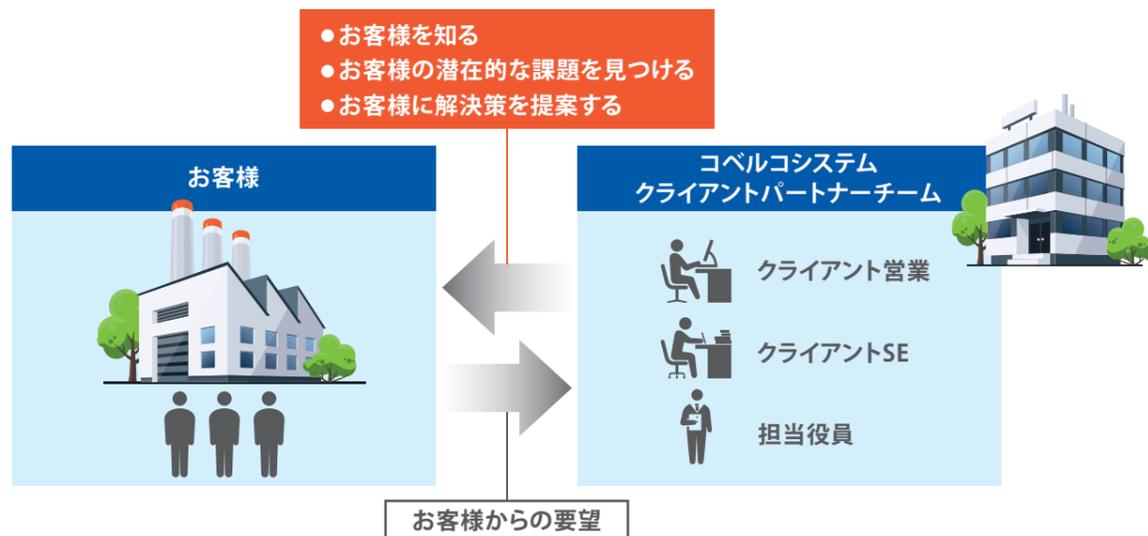
### お客様向け体制強化

コベルコシステムがお客様に信頼されるパートナー (Trusted Partner) であり続けるため、お客様を担当するクライアント営業、クライアントSE、およびクライアント役員で構成する「クライアントパートナーチーム<sup>(※1)</sup>」の設置を段階的に始めています。

開催する全社CPS<sup>(※2)</sup>にて定期的に報告し、全社でマネジメントを行っています。

また、クライアントパートナーチームの活動にも、従来からコベルコシステムが取り組んできたCSサイクルを組み入れることで、お客様視点経営のレベルアップを図っていきます。

このクライアントパートナーチームの活動状況は四半期ごとに



さらに、クライアントパートナーチームの活動状況のマネジメントだけでなく、コベルコシステムをTrusted Partnerとして評価いただけるお客様を今後も増やしていくため、営業部門で策定した

施策の進捗状況の確認および課題解決に向けたアクションの検討を、経営陣を交えた四半期ごとの会議で行っています。

※1 クライアントパートナーチームの取り組みは、まだ一部のお客様に向けて始まったばかりですが、今後、この活動で得られた経験や知見をもとに活動レベルの強化・向上を図っていきます。  
※2 CPS (Client Planning Session): クライアントプランニングセッション

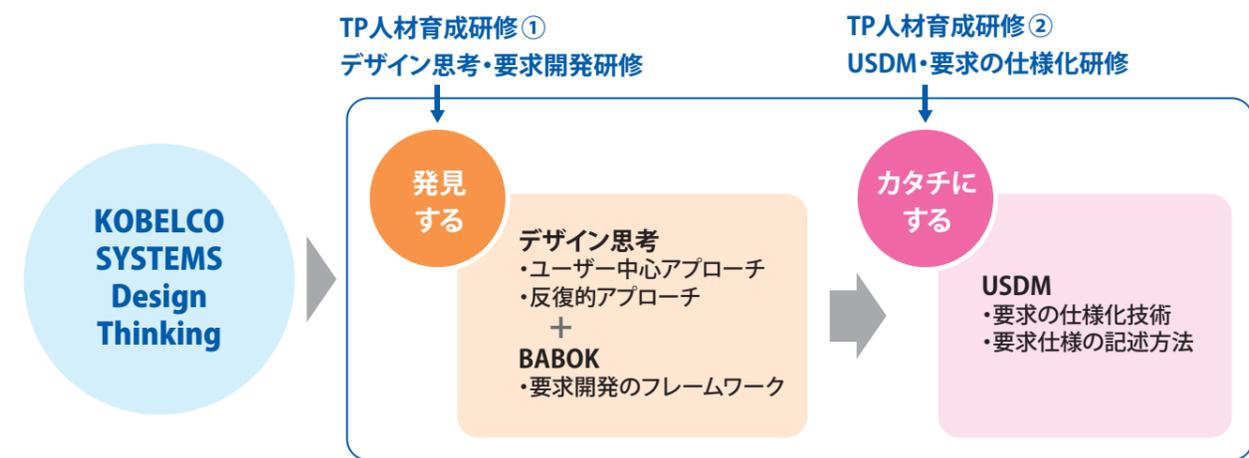
### ■ 中期経営計画(事業戦略)

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>成長戦略</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様に対して、営業部門と開発部門が連携したチームを設置することにより、顧客接点を強化</li> <li>● お客様軸での目標設定および目標に対する施策の推進状況を定期的にマネジメント</li> <li>● 事業部門の人材ローテーションなどシナジー効果を発揮し、ソリューションを強化</li> </ul>                            |
| <b>リソース戦略</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新卒採用を増やすことでリソースを確保するとともに、早期育成により即戦力化</li> <li>● デザイン思考を取り入れるなど、Trusted Partnerになるための社員の意識変革を促進</li> </ul>   |
| <b>技術戦略</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● フォーカスすべき12のコア技術を定め、優先度を決めて早期立ち上げに注力</li> <li>● 継続的な品質改善活動やトラブル対応力の向上によるさらなるQCDの強化</li> </ul>  |
| <b>経営基盤強化戦略</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令を遵守し、コベルコシステムの関連会社であるコベルコソフトサービスとの一体経営を進めることにより、コベルコシステムグループとして経営基盤を強化</li> <li>● 個人と組織の生産性を高め、かつ多様な人材が高い次元でワークライフバランスを実現する働き方改革の取り組みを推進</li> <li>● 役割・貢献に応じた人事制度改革を推進</li> </ul> |

### TP (Trusted Partner) 人材育成教育プログラム

中期経営計画の人材育成の重点施策として、社員の意識改革を促す仕組みづくりに取り組んでいます。具体的には、お客様のTrusted Partnerに求められる「お客様の本質的な要求を発見し、カタチにする」ことができる人材の育成を目指し、デザイン思考、

BABOK<sup>(※1)</sup>、およびUSD<sup>(※2)</sup>のメソッドロジーを活用した当社独自の教育プログラムをスタートさせました。2018年にトライアルを実施し、2019年から全社展開していきます。



#### ① デザイン思考・要求開発研修

「お客様の本質的な要求を発見する」ことに焦点をあてた研修。デザイン思考と要求開発のフレームワークであるBABOKを組み合わせた要求開発のアプローチを学びます。

#### ② USDM・要求の仕様化研修

発見した要求を「カタチにする」ことに焦点をあてた研修。USDMを用いた、要求の仕様化技術、および、要求仕様の記述方法を学びます。

※1 Business Analysis Body Of Knowledge の略称 ※2 Universal Specification Describing Manner の略称



### お客様の期待に応えるための人材確保

お客様とともに成長する会社を目指して、新卒・キャリア採用を中期の重点施策として掲げ、活動しています。2019年入社の新入社員については前年比約10%の採用増を実現しました。今後も

さらなる採用増を視野に入れ、採用体制の強化も図っていきます。また、新たに当社に加わった社員へも長期経営ビジョンと中期計画を浸透させるため、社内広報活動にも力を入れています。

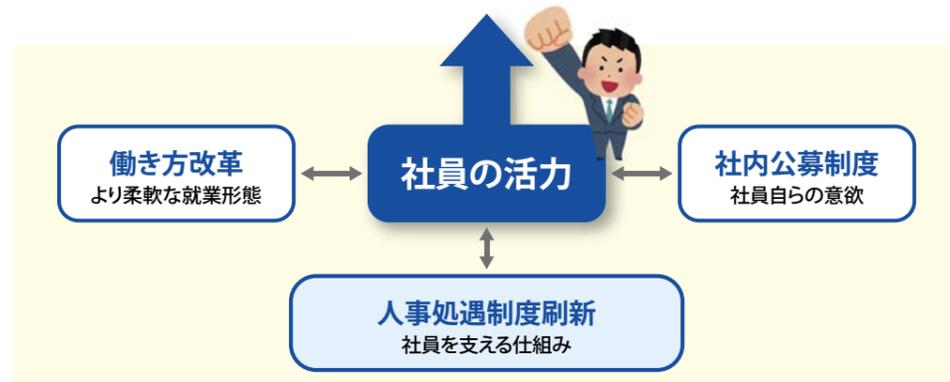


### 社員を支える人事施策の取り組み

コベルシステムがお客様のTrustedPartnerになるためには、お客様に信頼される人材育成の取り組みに加え、社員がやりがいを持って働ける仕組みや環境づくりが重要と考えています。

社員を支える人事制度のもと、働き方改革や社内公募制度など人事施策の取り組みを通して社員一人ひとりが活力を高め、最大限のパフォーマンスを発揮することで、お客様に信頼され、貢献する社員をサポートしています。

## Be a Trusted Partner



#### 人事処遇制度刷新

お客様に信頼されるパートナーになるための第一歩は、社員の活力を高めることだと考えます。高いパフォーマンスを発揮してお客様に貢献する社員を強力にサポートできるよう、管理職の人事処遇制度を刷新しました。



#### 働き方改革

社員の活力を高めるためには、個人と組織の生産性を高めることも重要です。そこで、個人のライフスタイルが多様化する中でも最大限のパフォーマンスを発揮できるように、時間や場所の制約を緩和し就業形態の選択肢を増やしました。



#### 社内公募制度

社員の意欲を活かすことも、社員の活力を高めるためには重要です。社員が挑戦したいことを応援するため、社内公募を実施しています。8月には新規ビジネスとして位置づけているAI技術に強い興味と高い推進意欲を持つ社員を公募しました。

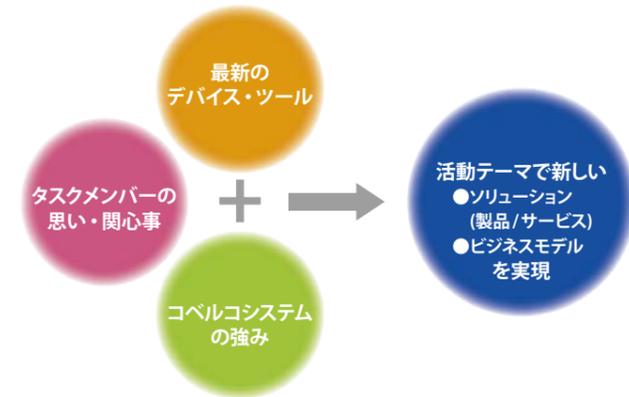


### 社員の自律性を育むタスクフォース型活動

社員の自律性を育み、自己実現できる場として、社員から募集したメンバーによる全社横断のタスクフォース型活動を実施しています。

第1期は「Mixed Reality<sup>(※1)</sup>を用いた物理的な距離感の短縮」をテーマに、遠隔支援ソリューション(フィールドサービス支援)への最先端デバイスの適用に取り組んでいます。

※1 Mixed Reality(複合現実)…現実空間と仮想現実を混合し、現実のモノと仮想的なモノがリアルタイムで影響しあう新たな空間を構築する技術全般を指す。



タスクメンバーによる検討の様子



新年の全社キックオフミーティングで、活動メンバーが作成した3Dモデルを、MR空間上で目入れを行う田野社長

### 社長ラウンドテーブル / 中期トップキャラバン

長期経営ビジョン・中期経営計画に込められた経営幹部の思いや中期経営計画に基づく重点施策を共有し、社員一人ひとりにTrusted Partnerになるための意識変革を促すことを狙いとして、社長ラウンドテーブルおよび中期トップキャラバンを実施しています。

社長ラウンドテーブルは、社長自らがホストとなり、ライン専門職およびお客様先のプロジェクトメンバーを対象に計17回にわたって161人が参加しました。

その他の全社員を対象とする中期トップキャラバンは、社長以外の経営幹部が交代でホストを務め、これまで計12回にわたって306人が参加しています。

経営幹部と社員の直接的なコミュニケーションを通して、経営幹部から長期経営ビジョン・中期経営計画で大切にしていることを伝え、また参加社員はグループディスカッションを通して、「Be a Trusted Partner」の実現に向けて社員が自ら果たすべき役割を考えます。

開催後のアンケートでは、参加社員からの前向きな声が多く寄せられました。



#### 参加者アンケート(一部抜粋)

- お客様の期待値をより意識するようになった
- 「Trusted Partner」が全社に浸透し、社員の方向性が統一されつつある
- 役員を直接聞いて経営への信頼度が高まった

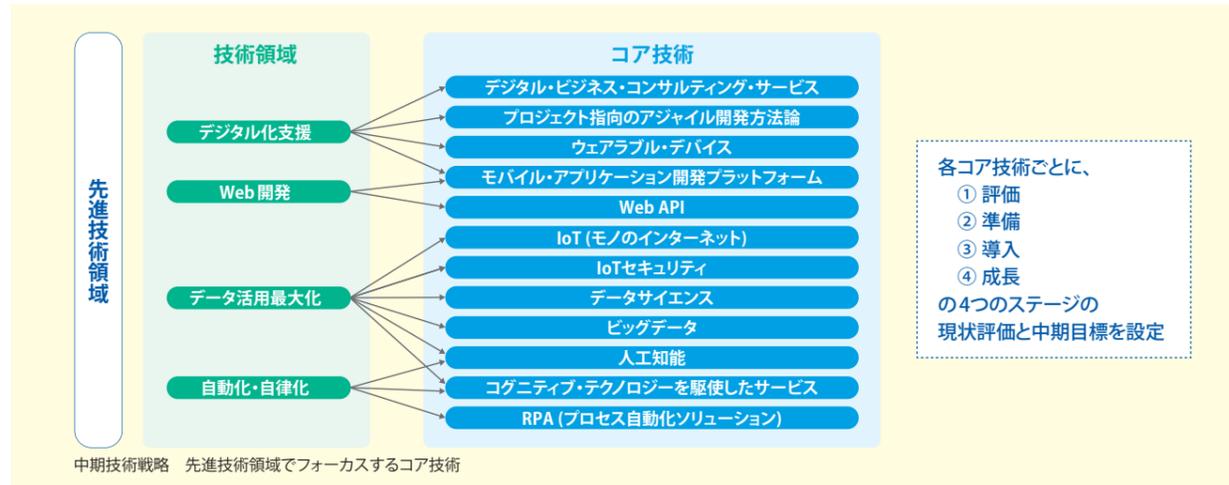


先進技術への取り組み強化

12のコア技術

コベルコシステムでは、経営会議の諮問機関の一つとして、技術・スキル委員会を設置し、先進技術の調査・推進、社内の技術力向上に向けた活動を行っています。中期経営計画策定の中では、技術・スキル委員会として今後のビジネスで中核となる12のコア技術を定

めるとともに、個々の技術について中期3年間で到達すべきステージを定め、取り組み状況をトラッキングしています。2018年は特にRPA(プロセス自動化ソリューション)とコグニティブサービス(人間のように、自ら理解・推論・学習するサービス)に注力してきました。



デジタルイノベーションセンター

現代の企業にとって避けて通れないのが、デジタル(ICT)技術を活用し、企業のビジネスモデルやビジネスプロセスを変革してイノベーションを起こすデジタルトランスフォーメーション(DX)です。

コベルコシステムでは、このようなDXを求めるお客様の新たなニーズに対し、新しいサービス・技術で応えていくため、2018年4月にデジタルイノベーションセンターを新設。12のコア技術の中でも

〈デジタルイノベーションセンターのサービスメニュー〉



特に強化すべき先進技術領域の検証ならびにビジネス化を推進しています。

また、デジタル化メニューを強化するとともに、お客様がユーザーとのつながりを重視して設計されるシステムの強化につながるAI、IoTなどの技術を活用したビジネスも推進しています。

先進技術の社内外への発信・共有

KTO

当社のビジネスに関連する技術・スキルの今後は鳥瞰する「KTO (KOBELCO SYSTEMS Technology Outlook)」をパッケージとしてまとめ、2006年から毎年発行しています。KTOでは、お客様に貢献できるよう、グローバルレベルの先進技術動向や国内のIT業界動向

とその成熟度をとらえ、当社の事業メニューに用いている重要な技術や先進技術への取り組みの方向性を示しています。お客様が直面されている課題の解決や次期IT環境構築のロードマップ作成を進める参考情報としてご活用いただけます。

〈コンテンツ〉

●業界・先進技術動向

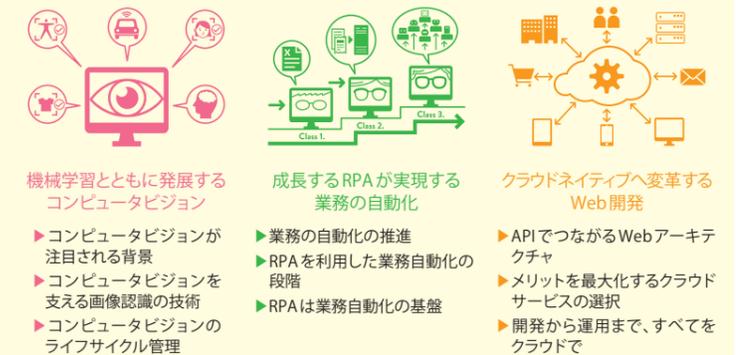
「いち早く調査・推進すべき新しい技術は何か?」「競争力を保つために必要な技術は何か?」ITを利用する多くの人がどのような技術に関心があり、またその成熟の度合いを知ることは重要です。技術の黎明期から安定期にいたるまでの成熟度の変化をとらえて、技術の採用時期を考慮する際に、中長期の技術を鳥瞰することができます。



KTOパッケージ

●コベルコシステムの先進技術フォーカス分野

当社は、お客様の課題を解決し、お客様の価値創出に貢献するために、事業メニューを差別化する技術を追求しています。そして、お客様とのパートナーシップ強化を通して、お客様の競争力向上に貢献します。



先進技術カンファレンス

技術・スキル委員会では、卓越した技術のコベルコシステムをめざすべく、社内への先進技術の普及推進および事例紹介を通じた社員の技術力向上とノウハウ共有を目的に「先進技術カンファレンス」を年1回開催しています。

本カンファレンスは、社外から招いた講師による先進技術についての基調講演やIT業界やお客様から注目される技術に取り組んでいる社員からの事例を中心としたセッションから構成しています。



先進技術カンファレンス 会場風景

〈2018年のプログラム〉

- 基調講演: 「RPAの今を知り、未来を創造せよ」
- 取り組み事例: ①「AI、コグニティブ時代の自動化技術(RPA)の変化とお客様での活用状況について」
- ②「IoTプラットフォームの今後の展開」
- ③「AI活用の理想と現実 ～チャットボットによる問い合わせ対応/画像認識によるデータの特徴抽出～」



取り組み事例の発表風景



# お客様から信頼されるパートナーになるために

コベルシステムでは、「お客様満足度向上活動(CS: Customer Satisfaction)」を経営を支える大切な取り組みとしています。お客様の声に耳を傾け、お客様のご期待を超え、お客様に感動していただける会社づくりに取り組み続けています。お客様に愛され信頼される真のパートナーとなるために、社員の豊かな心、そして会社としての着実な進歩を目指します。

## 豊かな心を目指して

### CS委員会

お客様満足度向上の観点から、全社レベルの施策を検討し、着実に対応する仕組みとしてCS委員会を設置しています。2002年の活動開始から今日にいたるまで、お客様に満足していただけるサービスをお届けできるように、社員のCS意識の向上に向けたさまざまな活動を展開しています。



### CS研修

社員のCS意識のさらなる浸透を目指して、毎年、全社員を対象としたCS研修をeラーニング形式で行っています。また、一泊二日の合宿形式のコースや短時間コースの討議会を毎年開催して、Trusted Partnerになっていくための豊かな感性を育む場として重要な役割を果たしています。



### CSスローガン

毎年、社員からCS推進のスローガンを募集し、その中から全社員の投票により翌年のスローガンを決めています。決定したスローガンはポスターにして、各事業所の執務フロア、会議室など、社内各所に掲示し、社員のCS意識の向上を図っています。



2019年 CSスローガン

### CS通信

社員の体験談などを記載したCSコラムを中心に、CSに関連した情報を毎月一回、全社員にメールで配信しています。親しみやすい内容で構成され、社員の興味を引き出しながら、CSの意識向上に役立っています。

### CS実践社員の紹介

お客様の視点を持った行動でお客様から感謝のお言葉をいただいたり、創意工夫や先進的な取り組みで、お客様のプロジェクトを成功に導いた社員を全社員に紹介しています。紹介された社員はこのことを励みにさらなるステップアップを図るとともに、紹介記事を読んだ社員が自己の行動の改善につなげていけるような機会にしています。

## 着実な進歩を目指して

### 活動結果のご報告

お客様とお約束した改善の進捗状況や達成状況の報告を行い、ご期待に応えることができたかを評価していただいています。活動が不十分であったり、さらなる課題についても確認し、継続して活動していきます。



## 報告

Be a Trusted Partner

## 聴く

### CS調査

お客様がコベルシステムに求めていることを知り、その思いに真摯に応えることで、お客様の真のパートナーであり続けたいと考えています。そのため的手段としてお客様からのご意見やご評価をいただく「CS調査」を行っています。CS調査は、コベルシステムの活動全般に関する「お客様満足度調査」、構築・開発プロジェクトに関する「プロジェクト満足度調査」、運用保守サービスに関する「サービス満足度調査」の3種類を実施しています。

### 業務改善活動

お客様からいただいたご意見にお応えするための取り組みをはじめ、業務効率化や品質向上などの自分たちで認識した課題に対しても積極的な取り組みを行っています。業務改善活動のプロセスを着実に実行することで、会社としての成長、着実な進歩を目指しています。活動の成果を発表する場として、業務改善活動発表会を年1回開催しています。全国各地の事業所をTV会議システムで接続し、活動内容の共有と横展開を図っています。



## 実行

## 共有

### 改善内容のお客様との共有

CS調査でお客様からいただいたご意見をもとにお客様の課題とコベルシステムへのご期待を確認し、今後の改善内容について共有しています。コベルシステムでは、その内容に基づいて改善活動を行っています。





# セキュリティなくしてビジネスなし

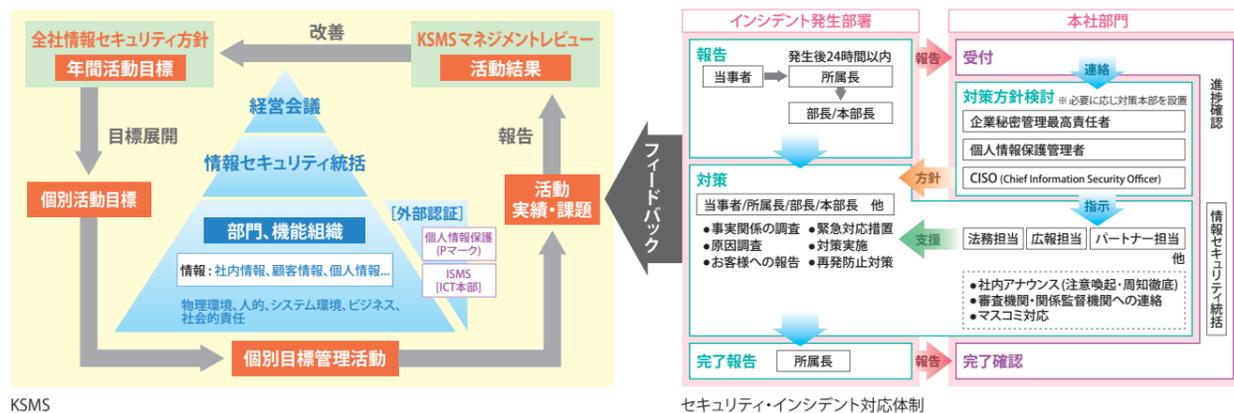
## コベルコシステム情報セキュリティマネジメントシステム

KSMS : KOBELCO SYSTEMS information Security Management System

インターネットが社会の経済活動に欠かせないインフラに成長するとともに、ITを利用したテロ、詐欺、窃盗や個人情報漏えいなどが大きな社会問題となっています。

このような社会的要請のもと、情報システムを生業とする当社としては、関連会社も含めKSMSというセキュリティマネジメント体系を定めてセキュリティ活動を行っています。KSMSは、経営幹部による

マネジメントレビューのもと、情報セキュリティポリシーの設定・見直しおよび、「物理環境」「システム環境」「人的」「ビジネス」「社会的責任」の各視点でセキュリティ活動のPDCAサイクルを回し、リスクの変化に適応した最適なセキュリティ水準を維持しています。また、突発的なセキュリティ・インシデントには、全社対応体制を整備し運用するとともに、適宜セキュリティ活動にフィードバックしています。



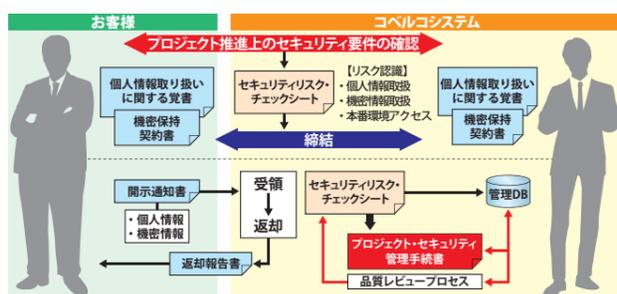
KSMS

## プロジェクトセキュリティプロセス

PSP : Project Security Process

コベルコシステムでは、プロジェクトのQCD管理に加え、2009年からPSPによるセキュリティ管理を推進、強化してきました。PSPとは、プロジェクトごとにセキュリティリスク(個人情報の取り扱い、機密情報の取り扱い、本番環境アクセス)を把握したうえで、お客様とリスクを共有し、対応策を実施していくセキュリティ管理手法です。この手法の運用定着化をまとめた論文(2014年)と情報漏えいリスク発見アプローチをまとめた論文(2015年)は、IBMユーザー論文で銀賞と銅賞を受賞しました。

お客様からお預かりしている情報資産を守ること、そしてその情報資産へのアクセスを管理することがコベルコシステムの使命と考え、プロジェクトのセキュリティを確保しています。



プロジェクトセキュリティ対策概念図

## 情報セキュリティマネジメントシステム

ISMS : Information Security Management System

コベルコシステムのISMSは、2003年のシステム事業部ICT本部のハウジングサービス事業から始まり、適用範囲を徐々に拡大して、現在ではICT本部のすべてのサービス事業で認証を取得しています。

また、システム事業部SO本部全体で日本IBMグループの統一認証を取得しています。

お客様からお預かりする大切な情報資産を守るため、技術的なセキュリティ対策と組織全体のマネジメントの両面から、高度なセキュリティ管理下でのサービスを提供します。

## 個人情報保護の推進

お客様、社員の個人情報を適切に保護することは、コベルコシステムの重要な責務です。

コベルコシステムは、プライバシーマーク制度の認証事業者となった2000年以降更新を重ね、個人情報を適切に保護する措置を構築しています。

また、毎年、全社員を対象に情報セキュリティ研修を実施し、個人情報保護の理解を深め、意識を高めることに努めています。

# 品質向上活動に終わりはない

コベルコシステムでは、システム開発・構築における品質向上を図るため、1999年に認証を取得したISO9001をベースに品質マネジメントシステム「KQMS」を構築しています。この下に「KDPS」「品質レビュープロセス」と呼ぶ当社独自の仕組みを構築しています。

コベルコシステムでは、システム開発・構築における品質向上を図るため、1999年に認証を取得したISO9001をベースに品質マネジメントシステム「KQMS」を構築しています。この下に「KDPS」「品質レビュープロセス」と呼ぶ当社独自の仕組みを構築しています。

## 2018年 全社品質方針

“Be a Trusted Partner”の実現に向け、  
デリバリー品質向上の仕組みを継続的改善により  
さらに強化し高いレベルでの品質の均一化を図る

## 品質マネジメントシステム

KQMS : KOBELCO SYSTEMS Quality Management System

全社で共通のQCD管理サイクルを制定し、それぞれのプロジェクト状況を一元管理しています。

全社品質方針・品質目標管理によるマネジメントレビューのもとでQCDの管理レベルの平準化とプロジェクト情報の見える化を実現し、また継続的に改善活動を行うことによって組織としてのQCD管理レベルの向上を図っています。

※QCD: Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (進捗)

## 開発プロセス標準

KDPS : KOBELCO SYSTEMS Development Process Standards

KDPSは、当社独自のプロジェクト管理手順をシステム開発・構築プロセスの標準として組み立てたものです。

プロジェクト計画や検証活動の手順・様式を充実させ、管理作業効率向上のための雛形や管理ツールも準備しています。

## 品質レビュープロセス

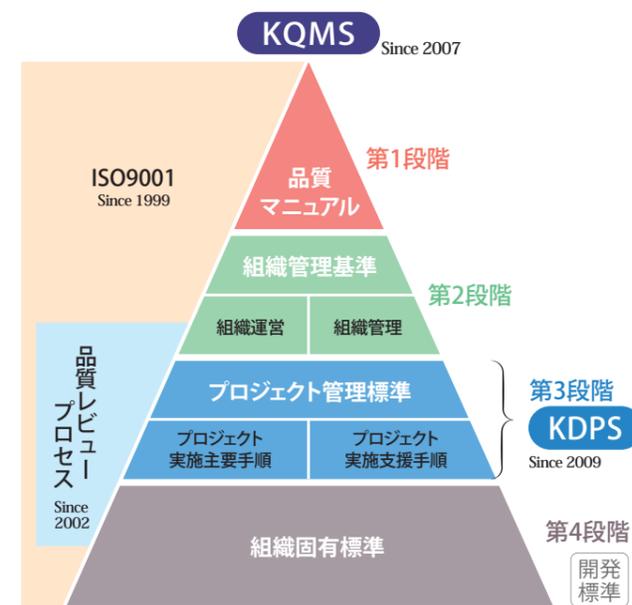
個々のシステム開発・構築が、お客様のご要望を満たし、高品質かつ所定のコスト内で確実に実現できるようにするため、当社独自の品質レビュープロセスを実施しています。

このレビュープロセスは、お客様への提案段階からサービス実施期間全体を対象とし、サービスの成功を脅かすリスクの特定・定量化・対応策策定を行うため、特別に訓練されたレビューアによって実施しています。

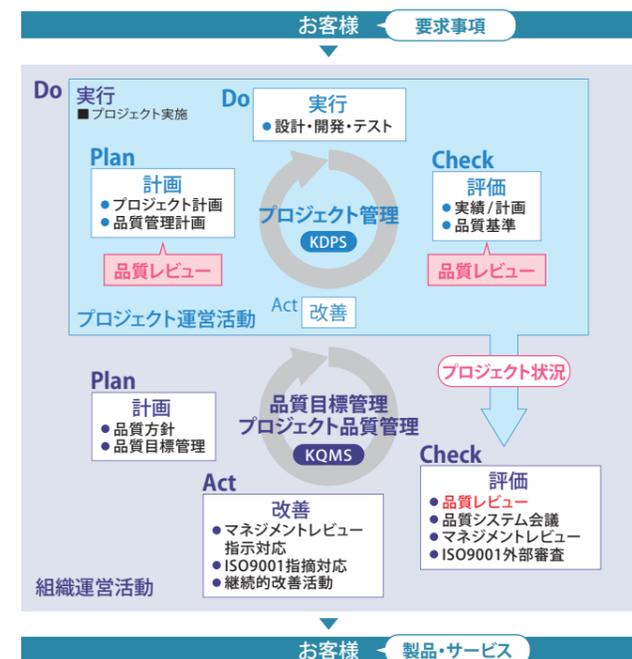
## ISO9001:2015の認証

(2017年更新、2018年定期審査受審)

お客様に期待される製品・サービスを提供することによりお客様の満足を得るとともに、ISO9001認証に基づく品質マネジメントシステムの継続的改善を通して品質目標達成を図っています。



品質マネジメント体系図



品質マネジメント体制



# お客様事例紹介



# 外部からの評価

## 感謝状・アワード

コベルコシステムが実施した先進的なプロジェクトやアセットビジネスの取り組みなどを評価いただきました。コベルコシステムにとって一番の喜びは、お客様からの「ありがとう」です。2018年もお客様から多くの感謝の声が届きました。

これからも、お客様に笑顔で感謝のお言葉をいただけるよう、また、お客様にとって一番のTrusted Partnerとなれるよう、尽力していきます。

### 大崎電気工業様

大崎電気工業様の生産管理システム構築プロジェクトにおいて、お客様のビジネス環境、決算時期との兼ね合いから、サービスインの延期が許されない状況の中で、すべての局面で予定通りにプロジェクトを完遂。サービスイン後も大きなトラブルもなく早期業務定着化に貢献したことを評価していただき、感謝状をいただきました。



### ノーリツ様

コベルコシステムでは、長年、ノーリツ様の基幹システムの保守・運用業務を担当しており、以下の活動により、レスポンスの改善や不具合件数を大幅に減少させたことをご評価いただきました。



#### システム基盤

- DB使用率の監視強化を含む、バッチ、オンライン処理のレスポンス改善

#### アプリケーション

- 月末在庫処理の事前検証(SCM⇄原価⇄会計)
- XDDPを取り入れた変更要求仕様書の提案・運用

### 第59回田宮賞 銅賞

神鋼のIT基盤を支えるとともに、お客様の期待に応えるクラウドメニューの拡充とビジネス拡大が評価され、第59回田宮賞の銅賞を受賞しました。田宮賞は、神戸製鋼グループの「ものづくり」を支えた事業に与えられる賞です。



### SAP AWARD OF EXCELLENCE 2018 特別賞

SAPパートナー向けのコンベンション「2018 SAP Partner Summit Day」において、コベルコシステムはSAP AWARD OF EXCELLENCE 2018 特別賞を受賞しました。SAP社が推進するパートナー営業戦略において評価されたことが受賞につながりました。



### mcfame Award 2018「Technical Award」

mcfameパートナー総会2018において、「Technical Award」を受賞しました。新製品のmcfame7の技術習得に積極的に取り組み、mcfameの導入技術力やサポート力をレベルアップし、ユーザーの満足度向上に大きく貢献したことを評価していただきました。



### 日本ビビファイ「Vivify Partner of the Year 2017」

日本ビビファイ 第二回パートナーミーティングにおいて、コベルコシステムは「Vivify Partner of the Year 2017」を受賞しました。これは、2017年度の協業ビジネス活動において、Vivifyビジネスに最も貢献した最優秀パートナーに対して日本ビビファイ社から授与される賞です。



### IBMユーザー研究会

#### 第56回IBMユーザー論文 入選 / JGS(日本ガイドシェア) 優秀論文 入選

全国IBMユーザー研究会連合会が主催する第56回IBMユーザーシンポジウムにおいて、コベルコシステムから、IBMユーザー論文として奨励賞2件を受賞し、表彰されました。

また、「JGS IT-Conference 2018 JGS研究2018 論文発表会」において、優秀論文4編、特別賞1編が入賞しています。

|                    |            |  |
|--------------------|------------|--|
| IBMユーザー論文          | 奨励賞【事例型論文】 | パッケージカスタマイズ開発の生産性向上に向けた自動化への取り組み           |
|                    | 奨励賞【事例型論文】 | DAによるサーバー運用自動化の導入とメリット                     |
| JGS(日本ガイドシェア) 優秀論文 | 優秀論文       | 日本企業におけるRPA(Robotic Process Automation)の導入 |
|                    | 優秀論文       | 上流工程における見積                                 |
|                    | 優秀論文       | 業務システムにおけるAI(機械学習・ディープラーニング)の現実的な適用        |
|                    | 優秀論文       | Docker開発と展開手法について                          |
|                    | 特別賞        | ビジネスシステムの高速開発への期待と限界精査                     |

## 日本トムソン様

日本トムソン株式会社様(代表取締役社長 宮地 茂樹様)は、機械装置のコンパクト化に貢献する「ニードルベアリング」や、位置決め機構として欠かせない「直動案内機器」などを製造する機械部品メーカーです。「IKO」のブランドで多種多様な製品を展開しており、その高い品質と精度により世界中に広く知られています。

そこで同社は、ERPパッケージを活用し基幹システムを統合することを決断したのです。これに対しコベルコシステムは、グローバルスタンダードのSAP ERPを提案。提案力、案件に対する理解力、プロジェクトマネジメント力、プロジェクトの体制などが評価され、パートナーとして選定いただきました。

システムの構築においては日本トムソン様独自の生産形態「多品種小ロット生産/見込みと受注のハイブリッド生産」への対応がポイントとなりましたが、トップダウンでBPR(業務プロセス改革)を推進することでプロジェクトを成功裏に導きました。具体的には、製造業向けテンプレート「HI-KORT」をベースに全社共通のテンプレートを構築し、必要に応じてカスタマイズしながら各国に展開。2016年10月にベトナムの生産会社、2017年5月に日本国内の生産・販売拠点、2018年8月に中国の販売会社で稼働を開始しています。



日本トムソン様 本社

### お客様の声 常務取締役 岡嶋 徹 様



コベルコシステムには、当社の業務部門と情報システム部門の間に立ってもらい、的確にプロジェクトをマネジメントしていただきました。また、経営会議に参加いただくなど、環境作りの面でも大きく支援してもらいました。おかげで導入もスムーズにいき、たいへん感謝しております。

日本トムソン様では、今回の導入により基幹システムが統合されたことで、原価が正確に把握できるようになり、採算や収益を意識した生産・営業活動が可能になったといえます。同社は今後、欧州や米国の販売会社にもSAP ERPを展開し、さらなるグローバル統合を目指す予定です。コベルコシステムは、今後も中長期的な全体成長戦略に則った提案を行いながら、信頼されるパートナーとして変革へのチャレンジをお手伝いしていきます。

IoTやAIなどの技術革新により機械要素部品の需要が拡大する中、日本トムソン様では2020年度を最終年度とする中期経営計画「CHANGE & CHALLENGE~Next Stage-ACCOMPLISH(成し遂げる)」のもと、生産性の徹底追求とグローバル化の推進による収益構造の強化を進めています。そしてその前段階である前中期経営計画(2015~2017年)では、グローバル市場で競争力と存在感のある企業となることを目指し、戦略基盤の強化に取り組みました。その施策のひとつが、基幹システムの統合です。

かつて日本トムソン様のグループ会社は、国ごとに独自の基幹システムを構築・運用していました。また、日本国内でも部門ごとのシステムが乱立しており、情報がうまく連携できていませんでした。



IKO製品群



直動型案内器



ニードルベアリング

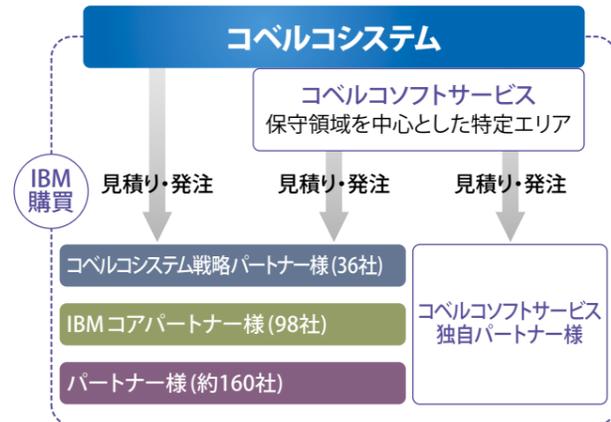


# 公正なパートナーシップの維持

## より強固なパートナーシップの構築

2016年1月から、コベルシステムでは、「コベルシステム戦略パートナープログラム」を導入しています。このプログラムは、価格競争力を保ちつつ、品質の高いサービスをご提供いただけるパートナー様と戦略的パートナーシップを結ぶことで、お客様へさらに価値あるサービスをご提供することが目的です。

戦略パートナー様には各社の強みや技術者情報などをご提供いただき、当社からは今後のビジネスを優先的にご紹介するなど情報連携を強化しています。それによって、より高いセキュリティ遵守、適正取引などの法令遵守の相互協力、また、見積りプロセスの簡素化や品質評価のフィードバックの実施など、相互にメリットをもたらす、より強固なパートナーシップを構築しています。



### コベルシステム戦略パートナープログラム

- 当社との定期的な意見交換および双方のビジネス拡大に向けた取り組みを共同して実施
- 当社とのリレーション強化の場の提供(パートナー会など)
- 品質評価フィードバックの実施
- ビジネスを優先的にご紹介
- 各種研修機会の提供(IBM主催研修を含む)
- セミナー/研修への参画
- 見積りプロセスの簡素化と発注までのリードタイム短縮

## ともにコンプライアンスを遵守し業務遂行力を向上

コベルシステムでは、ビジネスパートナー様とともに成長していくため、ビジネスパートナー様の「コンプライアンス遵守状況」

と「業務遂行力(プロジェクト遂行力)」という2つの観点から総合的な確認を行っています。

### コンプライアンス遵守状況に関する確認

会社としてのコンプライアンスへの取り組みを以下の項目で確認しています。

- ① コンプライアンスに関する専任者の設置など
- ② 取引の適正化に向けた取り組み姿勢
- ③ セキュリティ管理
- ④ 公的認証の取得
- ⑤ 組織的・人的・物理的・技術的安全管理

### 業務遂行力(プロジェクト遂行力)に関する確認

プロジェクトでビジネスパートナー様と協業した当社のプロジェクトマネージャーが以下の項目で判断しています。

- |          |              |
|----------|--------------|
| ① 品質     | ④ プロジェクト管理能力 |
| ② 生産性と価格 | ⑤ 技術力        |
| ③ 納期     | ⑥ 総合的対応力・体質  |

各ビジネスパートナー様のレベルアップ活動を支援するため、結果をフィードバックしています。

## 適正取引の推進

当社は、ビジネスパートナー様へのそれぞれの業務委託方式にあわせた発注・進行管理を行っています。それらを適正に行うために、CSR推進委員会内に「適正取引部会」を設け、適正取引ガイド、eラーニングなどにより、具体的なガイドを社内に徹底する一方で、ビジネスパートナー様に対しても、必要に応じて情報発信やアンケート調査、個別訪問の実施などを通じてその理解と実践をお願いしています。

主な取り組みは、以下の3点です。

- ① ビジネスパートナー様における適正取引状況の調査
- ② ビジネスパートナー様の再委託先活用状況確認
- ③ 請負の適正化のための自主点検実施および実態調査

これらの活動により、ビジネスパートナー様との健全な関係を維持し、お客様をサポートしています。

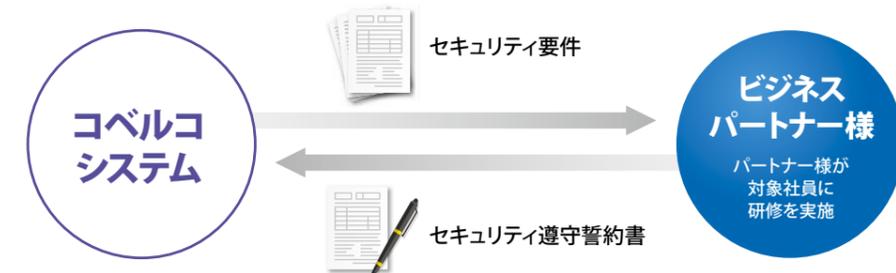
## 一体となってセキュリティを確保

当社は、ビジネスパートナー様とともにプロジェクトを遂行しています。その際、ビジネスパートナー様には、当社の社員と同等の基準でセキュリティを確保し、お客様に安心をお届けできるようご協力いただいています。

ネスパートナー様に対しては、各社の責任者に依頼し、対象社員に向けて研修を実施していただいています。2018年度のセキュリティ研修においても、対象者全員が十分な理解状況にあることを各社からの履修理解度報告で確認しています。

当社は、社員に対し、セキュリティ事項の遵守、徹底を図るために、毎年内容を見直して研修を実施しています。また、ビジ

これにより、当社とビジネスパートナー様が一体となって、お客様のセキュリティ確保につなげています。



## ビジネスパートナー様への感謝

毎年、当社は、「コベルシステムパートナー会」を開催し、当社の業務に貢献いただいたビジネスパートナー様への感謝として、ベストパートナー賞をお贈りしています。

2018年のベストパートナー賞をお贈りした(株)高砂コンピューターサービス様から、次のようなメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

### ビジネスパートナー様の声 株式会社高砂コンピューターサービス様

株式会社高砂コンピューターサービスは1972年9月に設立し、現在47期目を迎えております。弊社が47期という長きにわたり事業を継続できているのは旧神戸製鋼所IT部門時代からコベルシステム株式会社となった今でも変わらぬご愛顧をいただいている結果と受け止めております。

今年は「ベストパートナー」という名誉ある賞をいただき、この名に恥じないパートナーであり続けなければならない責任を感じております。

高砂コンピューターサービスは今後もお客様の笑顔のため企業価値の向上に努め、コベルシステム様のさらなる飛躍の一助になりたいと考えております。

現在、コベルシステム様では長期経営ビジョンとして『Be a Trusted Partner』を掲げられていますが、ビジョン実現のためにCSR推進は重要なファクターを占めるものであり、真摯な取り組みをCSR Reportに見ることができます。

今後も戦略パートナーとして弛まぬ努力を続け、高品質なサービスをご提供できるよう努めてまいります。

その取り組みを鑑み、弊社もコベルシステム様にとっての『Trusted Partner』であるために日々精進していかなければならないと改めて想いを強くしている次第です。

他方では「セキュリティの遵守なくしてビジネスなし」といわれるほどに情報保護の重要性が増す中、欧州でもGDPRが制定され、グローバル規模で情報保護が求められています。

コベルシステム様のセキュリティへの取り組みからもその重要性を垣間見ることができますが、その姿勢が弊社のコンプライアンス、セキュリティへの意識をより高いレベルへ引き上げる要因のひとつとなっています。



左から、株式会社高砂コンピューターサービス 代表取締役社長 後藤様、当社社長 田野



# 人材育成の仕組み

『コベルコシステムの最大の資産は人であり、社員一人ひとりの能力の最大限の発揮こそが会社発展の原動力である』という認識のもと、一人ひとりが互いを尊重し合いながらイキイキ働き、

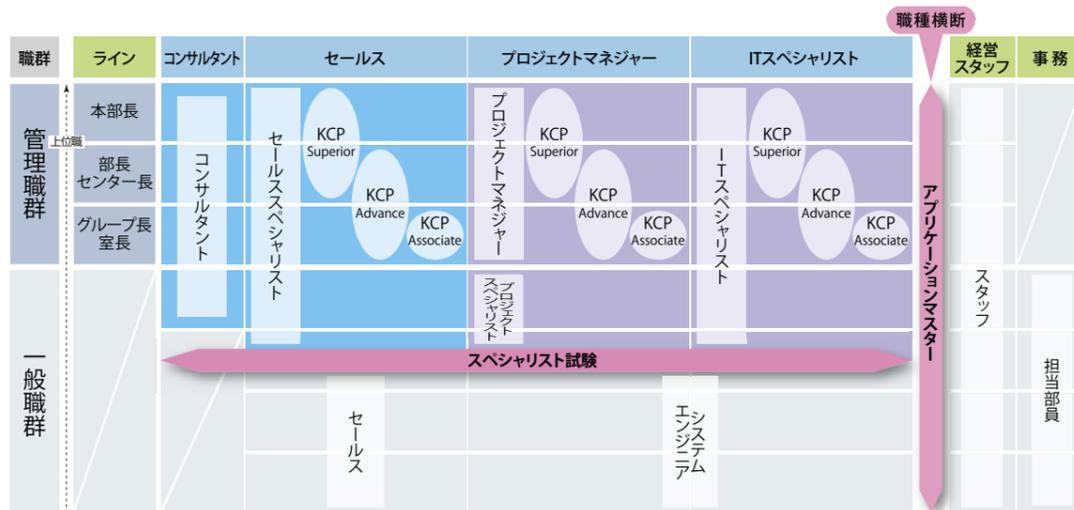
プロフェッショナルとして人間として成長できる会社の実現』を人事基本理念に据え、「期待する人材像、人材要件」を下記の通り定義しています。

- ① ITのプロフェッショナルとして、常に自らの専門性を磨き、高めるとともに、時代や環境の変化に、柔軟に自分で考えて動くことができる人材
- ② 人と協働し、他も活かし、組織・チームの目標達成のために、組織・チームの能力の最大化と最大限発揮に貢献できる人材
- ③ 社会人・企業人として、社会や会社のルールを遵守し、お客様に対しても常に責任を持って誠実に対応できる人材

## 複線型プロフェッショナル職制度を基軸に ~コベルコシステム認定プロフェッションを目指して~

これらを具現化する仕組みとして、社員一人ひとりの能力の最大限の発揮を追求する複線型プロフェッショナル職制度を採用しています。

そしてハイレベル人材の育成・登用および各職種の目指すべき人材像として、KCP認定制度 (KOBELCO SYSTEMS Certified Profession) を設けています。



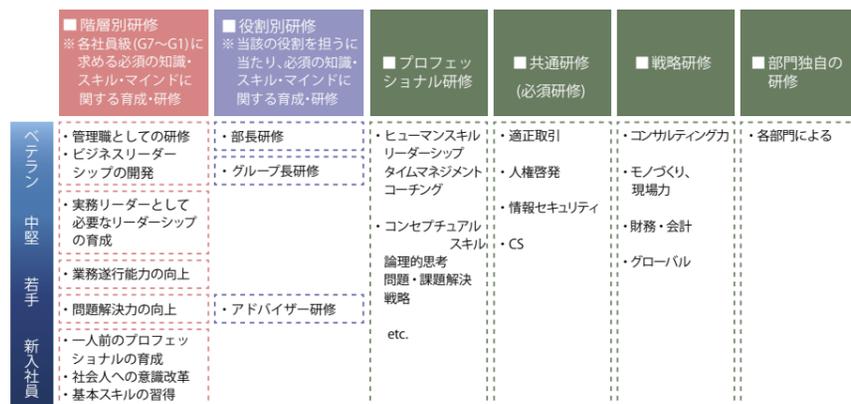
複線型プロフェッショナル職制度 / スペシャリスト試験制度 / KCP認定制度 / アプリケーションマスター制度

## 教育・研修体系

コベルコシステムでは、「すべての質を高めよう」という狙いのもと、IT研修はもとより、ヒューマンスキルなどの普遍的要素の研修や、お客様の経営課題解決に寄与する、コンサルティング力、ものづくりや現場力の強化など経営戦略に即応した、さまざまな研修を実施しています。

2019年は、お客様のパートナー (Trusted Partner) となる人材の育成をさらに強化します。

また、社員全員が知識を習得するための必須研修、各階層や役割別の研修、個人の成長段階にあわせて受講できる研修や、それぞれのキャリアプランにあわせて選択・受講することができる通信教育やスマートフォンでも学習できるeラーニングなど、個人のスケジュールにあわせて効率よく利用できる環境も提供しています。



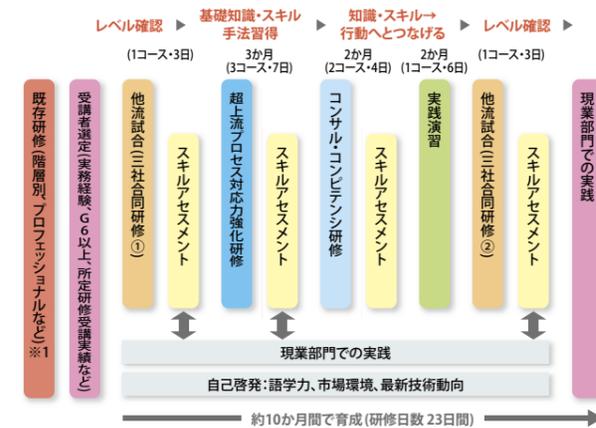
## コンサルティング力強化プログラム

ITを取り巻く環境変化に伴い、現在コベルコシステムに求められているのは、お客様のビジネス環境やニーズを理解し、ともに経営課題を解決できる人材です。

そのような状況を背景に、「ITベンダーからITパートナーへの変革」を目指して、2016年から開始したのが「コンサルティング力強化プログラム」です。

当プログラムでは、企業分析方法などの知識習得をはじめ、提案書作成、プレゼンテーションなどの講義や実践演習を通じ、さまざまなアプローチでお客様へ提案する際の姿勢やスキルを体得します。

プログラム期間は約1年間で、2018年の受講者は各部門から選抜された若手～中堅層の12人です。今後も継続的に実施し、お客様のパートナーとして活躍できる人材を増やしていきます。



※スキルアセスメントは、必要に応じて定期的の実施予定

## コンサルティング力強化プログラム 参加者の声 産業ソリューション事業部 インダストリーソリューション本部 黒崎 志津香さん

研修受講前から、お客様先常駐の案件で、お客様と話す機会はありませんでしたが、「本当にお客様志向で考え、会話することができているのだろうか?」と不安に感じていました。

本研修では、講義で基礎知識を学ぶのはもちろんのこと、業務ですぐ利用できるような演習が多かったため、業務でお客様と接する際に研修で学んだことを

積極的に実践することで、自信を持って会話ができるようになりました。

また、他本部の受講者の方から学ぶことも多く、良い刺激を受けて成長することができました。

今後は、本研修で学んだことを活かし、お客様にとって真の「Trusted Partner」となれるよう努力を重ねていきたいと思っています。



## グローバル人材育成プログラム

コベルコシステムが求めるグローバル人材とは、「社会人基礎力」や「ITスキル、プロジェクトマネジメントスキル、セールススキル」をベースに、「異文化を理解する力」「世界で幅広く通用するコミュニケーション力」というグローバル特有要件を兼ね備えた人材です。

2016年から、これまでの語学力サポートに加え、ビジネス上で語学力やコミュニケーションを活かせるグローバル人材の育成に重点を置いた当プログラムをスタートさせています。

当プログラムは、英語でのe-Mailライティングスキルや海外でのビジネスミーティングの進め方など、異文化コミュニケー

ションの要諦を解説と実践演習による経験を通じて理解・習得する内容になっています。また、受講者の中でさらに選抜されたメンバーは、海外でのグローバルリーダー研修に参加しています。今後も、グローバルビジネスで活躍できる人材輩出の環境づくりを積極的に行っていきます。



## グローバル人材育成プログラム 参加者の声 産業ソリューション事業部 ERPソリューション本部 福竹 裕昭さん

受講時点では海外案件こそなかったものの、商材 (MS Dynamics) の関係で英語ドキュメントを読む、開発元の英語会議に参加する、といった機会が増えていたため、上長の勧めもあり、受講に踏み切りました。

全編英語で日本語なしの集合研修はハードでしたが、境遇に近いメンバーとともにコースを楽しめましたし、ビジネス利用を前提に Speaking・Reading を基本から学ぶ、期待以上に実践的な内容でした。研修の終了後、

運よく商材の米国ユーザー会に出席する機会にも恵まれましたが、本研修を受講していなければ、単身で参加する自信は持てなかったと思います。

変化が激しく海外案件も多いIT業界において、英語でアプローチ可能な技術者には大きな強みがあると思います。少しでも興味を持っている方には、強く受講を勧めていきたいと思っています。



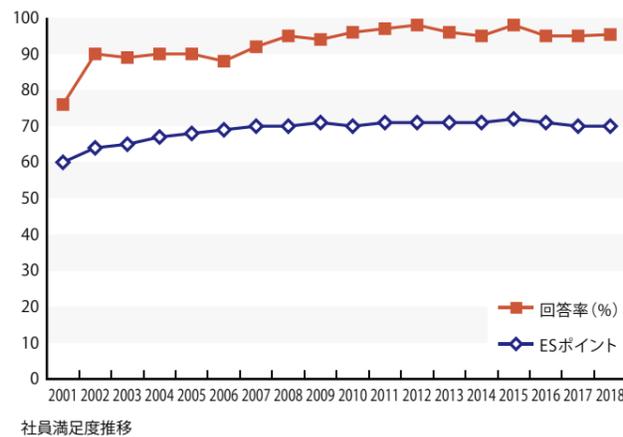


# 人材育成の仕組み

## 社員満足度調査

「社員満足(ES)の向上がお客様満足(CS)の向上につながる」という基本認識のもと、2001年から毎年、社員満足度調査を実施しています。全社員を対象に匿名で回答してもらうことで、社員の率直な意見を集め、課題の分析や改善策の立案を行っています。

総合満足度との相関が高くポイントの低い設問への対応に加え、ポイントの経年変化や、業務環境の違いにも着目して対策をとっています。全社結果では70ポイント以上を10年連続堅持していますが、業務環境による社員満足度のバラつきは正など、社員一人ひとりを取り巻く環境を踏まえ、「満足の質」を高める課題の発見や改善に向けたアクションをとっています。



## ライン長研修プログラムの強化

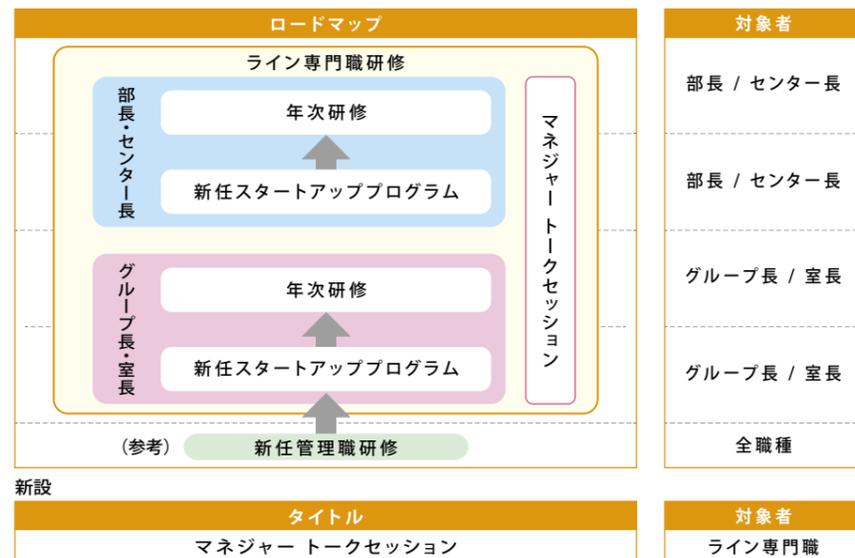
ビジネス環境が目まぐるしく変化する中、お客様に信頼されるパートナーとしてあり続けるためには、社員一人ひとりがこれまでに以上にレベルアップしていかなくてはなりません。そのためには、社員自身の自己研鑽はもちろんのこと、ライン長がリーダーシップを発揮して、部下を適切に育成・サポートしていくことが重要です。当社では全ライン長を対象とした年次ライン長研修に加え、新任ライン長に対するスタートアッププログラムを拡充し、ライン長のマネジメント力強化を図っています。

当プログラムでは、初めて部下を持ったグループ長・室長にとって今日からでも必要となる知識を、社内の実事例を教材に、各分野の

第一人者であるベテラン社員が講師となり、少人数制のインタラクティブな形で提供しています。

さらに、ライン長が抱えている部下の指導・育成上の悩みや課題について、ライン長自身の経験や社内事例を通して、解決につながるヒントを共有しあい、明日からのマネジメントに活かすことを狙いとして参加者同士が気楽に話し合う座談会(マネジャートークセッション)を新たに開始しました。

今後も、当社中期経営計画の要である人材育成に取り組んでいきます。



ライン長研修体系 (2018年)

# 社員と組織の絆を深めるために

## KWC (KOBELCO SYSTEMS Work-life-balance Community)

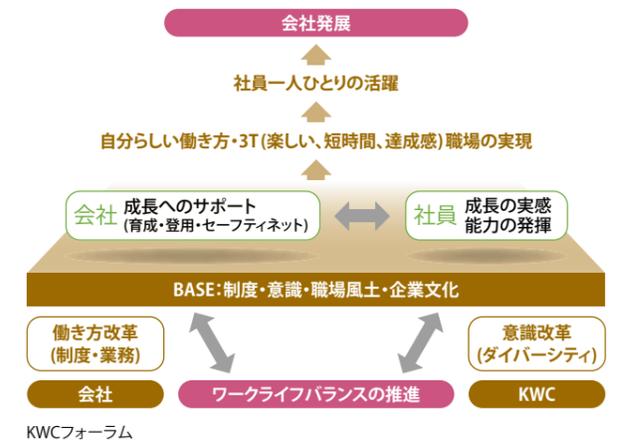
「KOBELCO SYSTEMS Work-life-balance Community (略称:KWC)」は、「社員が自らイキイキと働き続ける会社」を目指して、ワークライフバランスに着目した全社横断の自主活動を展開しています。

昨年度は、自部門以外では意外と知られていないすばらしい事例や社内外の優れた活動事例を集め、「良い事例集」として全社へ展開することを活動テーマとしました。

またKWCでは、年に1回、ワークライフバランスについて考える全社フォーラムを開催しています。昨年は、「Let's give it a try! ~まずは、やってみなはれ~」と題し、参加者間の意見交換を通して紹介事例や気づきを各職場に持ち帰ってもらいました。

ワークライフバランスを実現するためには、制度や仕組みを充実させることに加え、社内のノウハウを共有したり、社員間の絆を強くすることが大変重要です。

今後も、KWCを触媒として、社員一人ひとりのワークライフバランス実現をサポートしていきます。



KWCフォーラム

## 2017年度KWCメンバーの声 産業ソリューション事業部 事業推進部 磯部 貴信さん

昨年のKWCフォーラムは、「Let's give it a try! ~まずは、やってみなはれ~」というコンセプトで開催しました。このコンセプトの選定にいたった思いは、KWCメンバーの議論の中で、実は多数の部署でワーク・ライフ・バランスにつながる活動を実施しているが、それを知っている人は少ない、という気付きからでした。

私自身も他部署のワーク・ライフ・バランスにかかわる活動は知らず、驚きの連続でした。今回のフォーラムにとどまらず、継続して、横串での事例展開を続けることで、昨今の売り手市場な状況の中、さまざまなバックグラウンドを持つ方々がイキイキと働けるような環境を目指していきたいと思っています。



## 全社イベント「ハッピーデー」 ~家族とともに~

コベルコシステムでは、2008年から毎年秋に「社員同士の一体感の醸成」「社員を支えてくれる家族への感謝」をテーマに家族参加型の全社イベントを開催しています。

2018年は、本社のある神戸地区と東京地区でそれぞれ11月に開催し、社員とその家族、総勢約700人が参加しました。

「美味しいランチを食べてみんなでレクリエーションを楽しもう」をサブコンセプトに、ランチビュッフェを堪能した後、連想ゲームや、玉入れ、ハワイアンリレー、ビンゴ大会など、子どもから大人までが参加し、会場は大いに盛り上がりました。



社員の家族も本気で参戦!

5種類のゲーム大会が行われました



会場は笑顔の絶えない和やかな雰囲気

美味しいランチビュッフェに舌鼓

全社イベントは、「社員同士の一体感の醸成」「社員を支えてくれる家族への感謝」をテーマに開催しています。田野社長から、「会社は社員が財産、その社員を支える家族も大切にしたいので、家族にとって誇れる会社でありたいですね」とのオープニングに始まり、幹部たちが社員とその家族たちへ感謝の挨拶をするなど各テーブルを回り、終始和気あいあいとした雰囲気で行われました。

互いに離れた場所で働く社員にとっては、社員同士の親睦を図れる貴重な機会です。今回も期待度の高いイベントとなり、職場とは違う顔の上司、同僚、後輩たちとともに、楽しい一日を過ごしました。



# 環境保護・地域貢献活動

## 「森の世話人」活動

コベルコシステムが本拠を置く神戸は、シンボルである六甲山の自然に恵まれ、地域社会全体で六甲山の自然を守り育て、親しみ、そして愉しんでいます。

コベルコシステムでは、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所、兵庫県、関係4市が推進する防災事業の六甲山系グリーンベルト整備事業に「森の世話人」として参加し、六甲山の前山の金鳥山(神戸市東灘区)南側に広がる森林を「Kocoroちゃんの森」と名付けて整備しています。

主な活動は、他の植物の生育を妨げるネザサの刈り取り、腐朽木や外来樹種の伐採、常緑樹の間伐、落葉広葉樹の植樹などです。活動に際しては、NPO法人「六甲山の自然を学ぼう会」のサポートを得て森づくりを行っています。

2010年から活動を開始し、50人規模の活動を年3回、その合間に10人前後での維持活動・準備活動を年間10回程度実施しています。

2018年は、あわせて12回の活動を通して森林の維持・改善を実施し、多数の落葉広葉樹(ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ)の植樹を行いました。

また、これまでに「Kocoroちゃんの森」の休憩所にあわせて10脚のベンチを設置・寄贈し、ハイカーや登山客の皆さんにご利用いただいています。

2019年も引き続き、ネザサ刈りや伐採・間伐とともに落葉広葉樹の植樹を行い、土砂災害に強い森づくりを実施していきます。



Kocoroちゃん

コベルコシステムの自然保護活動イメージキャラクター Kocoroちゃん

※第12回アニメーション神戸 協賛事業として公募



親子で楽しく植樹

休憩所広場のネザサ狩り

※コベルコシステムの「森の世話人」活動の活動報告は、国土交通省の以下のページに掲載されています。

[http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr\\_media/plant/group/company/kobelco.php](http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr_media/plant/group/company/kobelco.php)



## トライサイエンス実験教室への参加

コベルコシステムの東京地区では、日本IBMが実施する地域貢献活動にグループ企業として参加しています。

日本IBMでは、さまざまな社会貢献活動を実施していますが、その一環として取り組んでいる、科学技術館で開催されている

「トライサイエンス実験教室」という子ども向けプログラムのボランティアに有志の社員が参加し、子どもたちに科学実験の楽しさを体験してもらっています。

### トライサイエンス実験教室 参加者の声 産業ソリューション事業部 インダストリーソリューション本部 福田 浩之さん

トライサイエンス実験教室は、未来を担う子どもたちに実験を通じて科学の楽しさを学んでもらうボランティア活動です。

私は、職場の先輩から誘っていただいたことがきっかけで、この活動に参加するようになりました。

最初は、実験教室での講師役を務めるといって、うまく教えることができるのか不安もありましたが、一緒に活動する皆さんのフォローもあり、自身も楽しんで

参加できています。

子どもたちの(ときには親御さんの)純粋な熱意や創意工夫に接したり、職場の仲間の普段とは違った姿が見られることが、毎回新鮮に感じられます。

休日の活動にはなるのですが、自身のリフレッシュにもなっているので、今後も継続して参加したいと思っています。



## 留学生インターンシップ受け入れ

コベルコシステムでは、地域貢献活動の一環として、2008年から兵庫県内の大学に在籍し、日本での就職を希望する外国人留学生のインターンシップを受け入れています。

日本企業で働きたい留学生を教育の一環として継続的に受け入れることによって、地域でグローバルの輪を広げることに貢献

しています。同時に、異文化を学び、社内のグローバル化への適応力を養う機会にもなっています。

また、2018年の「ひょうご留学生インターンシップ」に協力したことにより、主催者の大学コンソーシアムひょうご神戸様から感謝状をいただきました。

主な受け入れ元

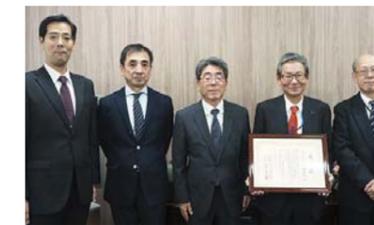
- 2008年 10人 経済産業省「アジア人財資金構想」
- 2009年 8人 経済産業省「アジア人財資金構想」
- 2010年 5人 ひょうご大学連携協議会
- 2011年 8人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2012年 10人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2013年 8人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2014年 10人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2015年 6人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2016年 10人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2017年 6人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- 2018年 4人 大学コンソーシアムひょうご神戸



## 学生向けデータセンター見学会

コベルコシステムでは、データセンタービジネスを行っていることから、2017年に引き続き、大阪情報コンピュータ専門学校様からデータセンターへの見学依頼があり、データセンター見学会、およびSEやオペレータの業務の説明、勉強・取得しておくべき資格などの質疑応答などを実施しました。

また、この対応に対し、大阪情報コンピュータ専門学校様から感謝状をいただきました。



左から、大阪情報コンピュータ専門学校 担当教員 清水 素彦様、学部長 呉本 能基様、校長 原辺 隆吉様、当社社長 田野、当社常務執行役員 時崎



## アビリンピック支援

アビリンピック(全国障害者技能競技大会)は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催し、障がいを持つ人々が日頃培った技術を競うことで職業能力の向上を図り、企業をはじめ社会の人々に障がいのある方々に対する理解と認識

を深め、その雇用を促進することを目的に開催されています。コベルコシステムは2003年以来、技能競技種目である機械CADと建築CADの環境設定や当日のヘルプデスク業務を担当しています。

## その他の社会貢献・地域貢献活動

### ■スポーツ振興協賛

NPO法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構(SCIX)に協賛しています。

### ■地域イベントへの協賛

寄付や協賛を通じ、地域の伝統や文化の維持に貢献しています。

- 神戸まつり
- 神戸ルミナリエ

### ■芸術への協賛

公益社団法人大阪フィルハーモニー交響楽団、公益社団法人アンサンブル神戸に協賛しています。

### ■兵庫県警へのサイバーテクニカルサポーターの派遣

兵庫県警察本部から委嘱を受け、テクニカルサポーターとして社員を派遣し、サイバー犯罪に対応するためのIT捜査知識・技術の向上に貢献しています。



# コベルコシステムのCSRを支える経営基盤

## コベルコシステムの経営理念

私たちコベルコシステムは、お客様と「夢」を共有し、  
確かな知識と卓越した技術によるITソリューション/サービスを通じて、  
お客様の発展とチャレンジに貢献し続けます。

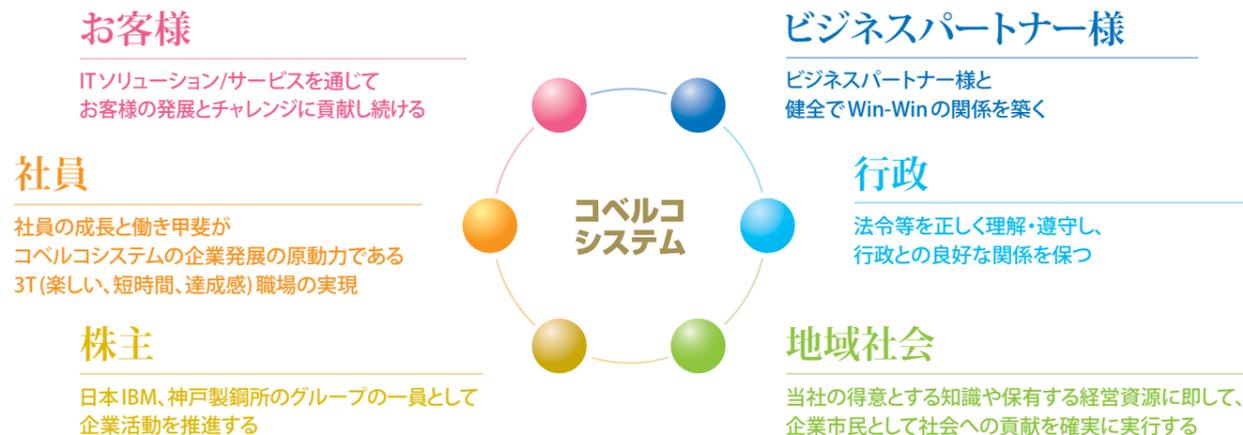
この経営理念は、2006年に若手・中堅社員の代表30人が検討し、全社員が共有する当社の未来像として策定しました(当初は経営ビジョンと呼称)。お客様の発展とチャレンジに貢献するため、お客様の「こうありたい」という夢を共有し、実現し、お客様に喜んでいただくことが、私たちの夢であり、使命であると考えています。

また、これまで現場の経験で培ってきた優れた品質や高度な技術、それを支える確かな業務知識やIT専門知識、そしてお客様

の夢の実現に必要な「知恵」を駆使することで、お客様の期待を超えるソリューション/サービスを提供し続けたい。経営理念にはこのような想いが込められています。

社員自らが作った経営理念を掲げて、コベルコシステムは「常にお客様の立場に立った行動、ITのプロフェッショナルとしてのお客様への貢献、そしてお客様と夢を共有できる会社」を目指しています。

## コベルコシステムのステークホルダー



取得済の認証・認定・許可

ISO 9001  
JQA-3022

登録組織：システム事業部ICT本部  
登録範囲：インフラソリューションサービスの提供  
規格：JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)  
登録番号：JSAI 003  
有効期限：2021年4月20日  
登録認証機関：日本規格協会ソリューションズ株式会社 審査登録事業部

ISMS  
JIS Q 27001  
ISO/IEC 27001  
JSAI093

登録組織：システム事業部ICT本部  
登録範囲：インフラソリューションサービスの提供  
規格：JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)  
登録番号：JSAI 003  
有効期限：2021年4月20日  
登録認証機関：日本規格協会ソリューションズ株式会社 審査登録事業部

ISO 27001  
BUREAU VERITAS  
Certification

登録範囲：IBMシステム受託サービスにおける  
アプリケーション開発・保守サービスの提供  
規格：ISO/IEC 27001:2013  
登録番号：IND16.0652U-18R  
(この認証書はIND16.0652Uの一部を構成するものです)  
有効期限：2019年11月15日  
登録認証機関：ビューローベリタスジャパン株式会社

日本IBMグループ統一認証

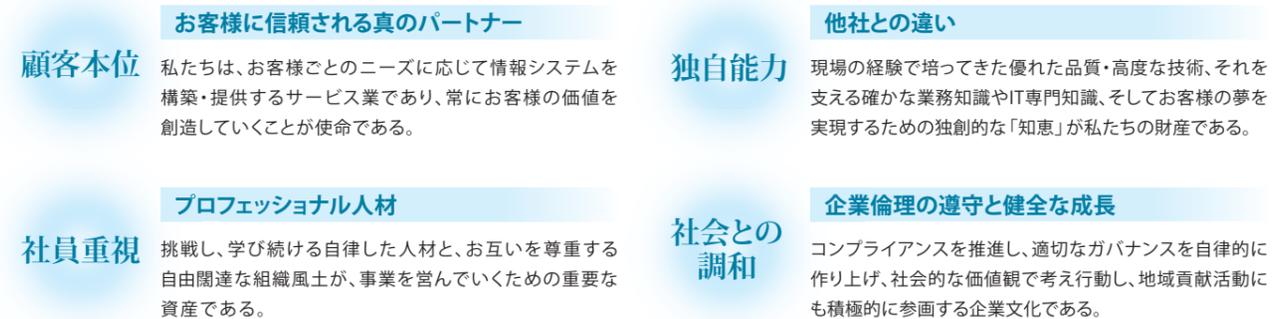
兵庫県知事許可一般建設業(電気通信工事業)  
[許可番号/(般-27)第114641号]

## マネジメント・経営品質

コベルコシステムのマネジメントは、「常にお客様満足の追求を経営の中心に置き、組織・プロセスを変革する」という考え方を基本としています。

コベルコシステムでは、経営品質向上プログラム(※)の「顧客本位」「独自能力」「社員重視」「社会との調和」の4つの基本理念を軸に組織プロセスの変革に取り組んでいます。

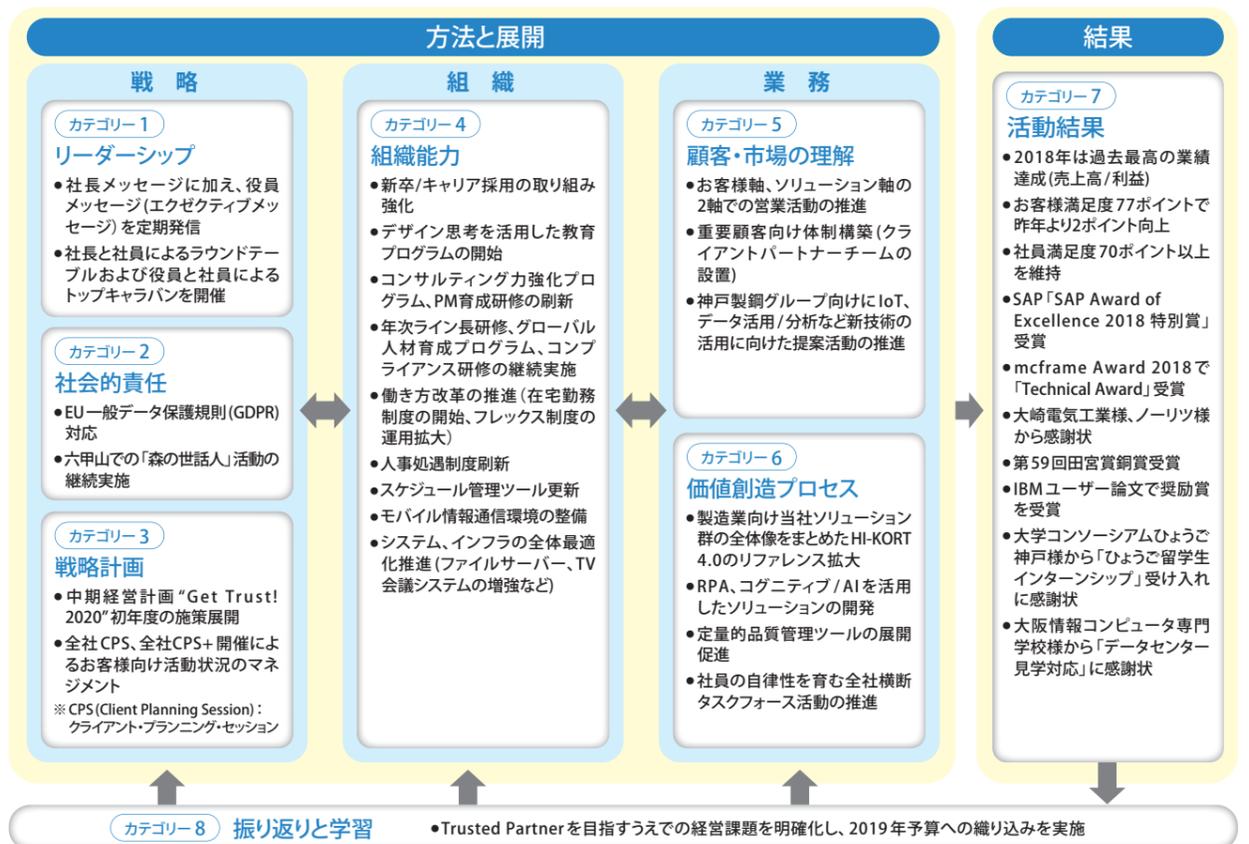
※日本経営品質協議会のプログラムで、顧客、競争(独自性)、社員、社会のすべてにおいて高い価値を作り出すために革新し続ける経営づくりを支援するプログラムです。  
「顧客本位」「独自能力」「社員重視」「社会との調和」の4つの基本理念から構成されており、これらをすべて満たすことが卓越した経営に共通した条件とされています。



## 経営品質向上プログラムのフレームワークと2018年の活動結果

組織・プロセスの変革は、下図の8つの視点=カテゴリーで実践し、評価しています。

各カテゴリーでの2018年の活動結果を下記フレームワークに示します。



ガバナンス推進体制

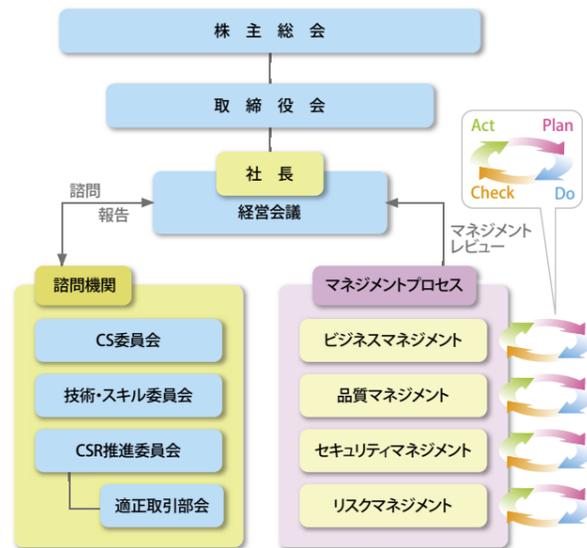
株主総会を起点とし、取締役会、および経営会議を基盤とする経営管理体制によって運営しています。取締役と執行役員の任期は1年として各年度の経営責任を明確にし、経営環境の変化にも迅速に対応できる体制としています。

取締役会は、3ヶ月に1回の定期開催に加え、必要に応じて随時開催し、業務執行の基本となる意思決定や監督を行っています。経営会議は、経営戦略や重要施策の策定など、経営上の重要事項を審議・決定します。

コベルシステムは、米国に本社を置くIBMグループの一員であり、SEC(米国証券取引委員会)の会計基準および米国SOX法に準拠したIBMの内部統制の配下にある会社です。

最高経営責任者(社長)および最高財務責任者(管理部長)は、四半期単位で財務諸表が正確であること、内部統制が健全に機能していることをステークホルダーに宣誓しています。

業務の有効性や効率性、財務諸表の健全性や信頼性、法令遵守などコベルシステムの内部統制環境が機能していることを保証するためにSOXテストやモニタリングを実施しています。



コンプライアンス推進体制

お客様に信頼される真のパートナーになるために、法令などを遵守するのはもちろん、企業倫理に則した行動を取ることが必須です。コベルシステムでは、「IBMビジネス・コンダクト・ガイドライン」(BCG)を適用した「コベルシステム企業倫理規程」を制定し、社員一人ひとりが行動する際のガイドとしています。

また、企業活動を取り巻く、多様化、複雑化、かつ高度化するリスクに対して適切に対応することも求められるため、コンプライアンス推進活動の一環としてリスクマネジメント活動を継続しています。これは、リスク管理チェックリストを使用した自主点検を

中心とする取り組みで、その結果に基づき、残留リスクへの改善策を策定し実施するPDCAサイクルを回しています。

当社はビジネスパートナー様とともにプロジェクトを遂行するため、ビジネスパートナー様との取引が適正に遂行されているかどうかの確認も重要です。このため、「発注者の請負の適正化のための自主点検」チェックリストを使用した点検を実施し、その結果に基づき、懸念のある項目に対しては適正取引部会が責任者へのヒアリングを実施して具体的な懸念の内容を確認し、改善に向けたアドバイスや対応策の指示などを行っています。

2018年度リスクマネジメント推進活動

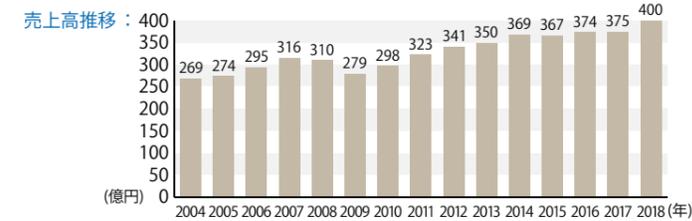
2018年2Q~2019年1Q



会社プロフィール

会社名称: コベルシステム株式会社  
 創 立: 1983年10月1日 (神鋼コンピュータシステム株式会社として発足)  
 設 立: 1987年7月1日(コベルシステム株式会社に商号変更)  
 代 表 者: 代表取締役社長 田野 美雄  
 株 主: 日本アイ・ビー・エム株式会社 51%  
 株式会社神戸製鋼所 49%  
 資 本 金: 4億円  
 社 員 数: 1,604人(2019年4月1日現在, 関連会社 474人を含む)  
 関 連 会 社: コベルソフトウェアサービス株式会社  
 本 社: 〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号(シマブンビル)  
 U R L: <https://www.kobelcosys.co.jp/>

事業所:



沿革

- 2018年: デジタルイノベーションセンター設立  
クライアントパートナーチーム設置
- 2017年: 会社設立30周年 記念行事を開催  
日本IBMグループ統一ISMS認証取得 (SO本部)
- 2016年: IoTビジネスセンター 設立  
東京本社リニューアル
- 2015年: 「コベルシステム クラウドインテグレーションサービス」開始  
事業部制導入
- 2014年: SAP導入テンプレート「HI-KORT」のクラウドサービス開始  
本社「近畿ニューオフィス コミュニティ賞」受賞  
ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム) 永年登録表彰
- 2013年: 本社移転  
「プライバシーマーク制度貢献事業者」として表彰
- 2011年: 中国・北京で開催された「SAPPHIRE NOW in Beijing」に出展
- 2010年: クラウドサービスセンター 設立
- 2009年: 次世代育成支援対策推進法認定マーク(くるみん)取得  
「秘伝のタレ®」「秘伝のワザ®」を商標登録
- 2007年: 全国企業品質賞にて大賞受賞(栃木県経営品質協議会主催)
- 2006年: 東京事業所を東京本社と改称  
全国企業品質賞にて最優秀賞受賞(栃木県経営品質協議会主催)
- 2005年: AMS<sup>®</sup>センター 開設
- 2004年: IPセントレックス・IPコミュニケーション事業に進出
- 2003年: ISMS認証取得 (ICT本部)
- 2002年: アウトソーシング事業を強化 日本IBMの資本参加
- 2000年: プライバシーマーク(個人情報保護)の認定取得
- 1999年: ASP事業の本格的な展開を開始  
ISO9001 認証取得

※ AMS: Application Management Service  
SAP社のERPパッケージをベースとした基幹システムの、本番稼働後の安定稼働や運用技術支援、業務の定着化を支援するサービス

**編集後記** 本レポートを最後までお読みいただき、まことにありがとうございました。本レポートはそれぞれの分野の担当者が、できる限りわかりやすく伝えることを心がけて執筆いたしました。また、記載の内容をより理解いただくために図や写真を多用し、かかわった社員の声を数多く掲載いたしました。コベルシステムのCSR活動に対する皆さまの理解が深まり、親近感を覚えていただけましたら幸いです。今後もさらにCSR活動を強化し、ステークホルダーの皆さまと“ともに”の姿勢で取り組んでいきます。

ご意見・ご感想は、当社ホームページ「その他のお問合わせ」からお願いいたします。  
<https://www.kobelcosys.co.jp/inquiry/other/>



コベルシステム株式会社 経営企画部 CS・CSR推進グループ  
 〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号 シマブンビル10F TEL: 078-261-6001 FAX: 078-261-7520